

日本国民救援会岩手県本部

〒020-0015

盛岡市本町通2-14-27

TEL. FAX (019) 652-3591

http://homepage3nifty.com/kokumin

kyuenkai-iwat/

eメール BCB13331@nifty.com

救援新聞・岩手版

No.87

# 救援新聞

毎月5の日、月3回発行

1カ月300円(郵送料1部40円)

発行 日本国民救援会

〒113-8463 東京都文京区湯島

2-4-4 平和と労働センター内

電話 03(5842)5842

FAX 03(5842)5840

http://www.kyuenkai.org

eメール info@kyuenkai.org

## 会員拡大の前進で60回大会の年を迎えよう

### 改憲許さないたたかい 再審法改正の運動 宣伝・署名・対話を広げ

日本国民救援会岩手県本部の第41回大会が、10月26日、盛岡市内で開催されました。晴山俊孝副会長が開会あいづを行い、この間の物故者に黙とうをしました。

県本部委員会の報告をした水戸正男会長は、台風19号で浸水被害を受けた久慈支部の会員(7名)へ「お見舞いを申し上げます」と述べたのちに、安倍政権の改憲策動を許さない運動、暮らしと権利を守る活動、冤罪被害者の救援と再審法の改正に向けた運動を、国民救援会の姿が県民に見えるようにすすめ、「来年の第60回全同大会を会員拡大の目標達成で成功させよう」と訴えました。

大野秀事務局長が、会計の決算と予算案について、報告と提案をおこないました。大会は、運動方針などの諸議案、再審法の改正を求めるなどの決議案を全会一致で採択し、県本部役員を選出し、案した大会宣言を可決し、閉会しました。



大会には、来賓として国民救援会本部の井上裕恵事務局長、日本共産党岩手県委員長の若山明夫副委員長、自由法曹団の小笠原基也弁護士、いわて労連の金野耕治議長が出席して、あいさつを行いました。

現地調査に参加し、えん罪に陥れられたことが真相で、この救援に取り組んでいく。支部は、毎月1回の支部常任委員会を開催、支部ニュース、学習ニュースの発行と拡大にも力を入れ3桁に到達した。

「一関」：「救援新聞」9月25日号に掲載された「19日行動の反撃」について発言する。選挙期間でも自由にできる宣伝・デモ行動に、一関署が「不許可」としてきたことへ「不当な干渉は許さない」と抗議し、堂々と行動した。

### 活発な討論 9人が発言 続きは次頁

県本部大会の討論では9人が発言しました。

●花巻：3カ月前に救援会に入り、松川事件70周年記念集會に参加した。資料館にも行き、国家の謀略事件に対し被害と弁護団、国民的支援で無罪を勝ち取ったことを学んだ。

●盛岡：支部役員に女性が入り変化した。支部常任委員会の毎月定例化、支部ニュースの発行、未納者克服の財政活動の改善、県の「救済学校」

## 布川事件の桜井昌司さんを迎え

### 講演と音楽の夕べ



「えん罪のない社会を共につくる」講演と音楽の夕べ」が10月26日、盛岡市内で開かれ80名が参加しました。

主催者あいさつで国民救援会岩手県本部の水戸正男会長は、「この集いを前にした10月23日、滋賀県・東近江市の湖東記念病院人工呼吸器事件で冤罪となった西山美香さんの再審無罪が確定される見通しになった」と紹介し、「冤罪をつくらせず、冤罪となったら再審で無罪に。そのためにも再審法の改正が急務だ」と呼びかけました。

高屋修さんと厚子さんのPart Timeによるオリジナル曲の歌声で幕が開けました。

布川事件での再審無罪に続いて国賠訴訟でも勝訴(東京地裁09年3月)した桜井昌司さんは、布川事件の冤罪で獄中に29年間捕らわれた経過を克明に話し、警察・検察が無

実の人を冤罪に貶める手法を厳しく批判しました。無実の証拠や証言できうる人を検察は隠し通し、犯罪者に仕立て上げ、裁判官もそれに追従して冤罪が生まれることに会場からため息がもれました。冤罪の再審無罪のために、検察が持つ証拠の全面開示、再審判決に対する検察の抗告を禁止、再審手続きの法整備を行うべきだと、桜井さんの訴えに、大きな拍手が起きました。

質疑やフロア発言で、吉田瑞彦弁護士(日弁連死刑廃止等実現本部副本部長・盛岡市在住)が、袴田巖さんの状況に続いて死刑制度の廃止について述べました。

桜井さんは、獄中で作詩した「おかあさん」や「おとうさん」と題する歌を披露し、参加者の拍手に包まれました。司会進行を、盛岡市議会議員の三田村あみきさんがつとめました。

# 松川事件70周年記念集會に1200人

## 岩手から38名参加



**全国から1200名**  
松川事件70周年記念全国集會が9月21、22日、福島大学構内で開かれ全国からのべ1200人が参加しました。岩手からマイクロバスを仕立てた北上支部や一関支部をはじめ38人が参加しました。

集會は、福島県川俣町の山木屋太鼓の勇壮な和太鼓で幕が開けました。

同集會実行委員会の安田純治実行委員長が開会のあいさつ、福島大学の中井勝己学長が歓迎のあいさつを行いました。

**周防監督が記念講演**

映画監督の周防正行さんが「えん罪をなくすために、映画製作の立場から」と題し、記念講演を行いました。周防さんは、「それでもボクはやっていたくない」の自らの映画作品を通して、えん罪につながる司法制度の問題について発言。①自白するまで身柄を拘束する「人質司法」、②検察が持っている証拠資料を見られない「証拠開示の制限」、③密室で取調官によってつくられた「調書裁判」などの3点について述べました。そして、①証拠の全面開示、②再審開始決定に対する検察の不服申し立ての禁止が不可欠で、再審法の改正が必要だと強調しました。

**事件の生き証人**  
えん罪を晴らした元被告の20人中18人が他界し、生存の2人のうち福島在住の阿部市次さん(96)がお話しました。

**シンポジウム**  
「えん罪はなくせないか！人権を守る」と題してのシンポジウムが高橋有紀福島大准教授がコーディネーターをつとめ、布川事件の桜井昌司さん、宮城県平和委員会の本田勝利さんが、発言しました。

**松川事件記念塔**  
2日目の午後は、東北本線沿いに建立された記念塔公園に集まり、献花の後、黙祷を行いました。



**冤罪の再審・無罪を―秋の宣伝行動**

国民救援会岩手県本部と盛岡支部は、10月28日、盛岡市のサンプル交差点で、冤罪の再審・無罪を求める秋の宣伝行動に5人で取り組み、拡声器で訴えるとともに200枚のビラを配りました。

県本部の水戸正男会長と大野秀事務局長は、同市で26日に開かれた「再審のない社会を共につくる」講演と音楽の夕べで報告した布川事件の桜井昌司さんの生々しい発言も紹介しながら

**県本部大会での発言(続)**

○北上：昨年10月28日に世界3階級制覇チャンピオンの八重樫東さんを迎えて「務田蔵さんの再審無罪を求める集會」を開き140名が参加し、地元新聞でも報じられた。国民救援会の存在をアピールすることが出来た。

松川事件70周年集會にマイクロボスで参加し、救援会活動の原点を学ぶことが出来た。会員数は、遺族の加入もあつたが、死亡や病気で実質2名減っている。会員拡大のテンポをあげて行く。

○盛岡：9月に「消費税の10%

**3年ぶりの大会 釜石支部**

釜石支部は10月22日、釜石市内で3年ぶりになる支部大会を開き、8名が出席しました。

大会には、岩手県本部の水戸正男会長がかけつけ、「国民救援会の今日的役割と活動」と題して40分に渡り講演しました。

同支部の三浦勝男事務局長が、活動報告と会計の予算について報告・提案しました。

討論では、「斉藤正子市議への選挙弾圧を機に釜石支部が結成されたことを思い出した」「さまざま忙しいが、人権と民主主義を守る地域センターの救援会を強めなくてはならない」「支部大会は毎年開こう」と活発な発言が出され、今後の奮闘を誓い合いました。

**増税反対の宣伝行動で、盛岡警察署へ宣伝カーの道路使用許可申請をしたら、これまで数カ所所の宣伝も1枚の申請で受理されたという伝言が、1枚で出来るのは1カ所だけ」「申請料金も値上げした」と回答してきた。建築などの道路使用と宣伝行動の道路使用とは異なるのに同列にするような対応は、言論の自由への抑制である。これがどこで決まったのかの追及とともに言論の自由を脅かすことを許さないため、関係者とも協議して対応していく。**

**討論のまとめ**

討論に、入会3カ月の新会員や県本部顧問のベテラン会員の9名が参加した。

①「支部の活動で、国民救援会の姿が住民に見えるようになってきた」との発言は、貴重であり全体が学ばべき内容である。

②「毎月の支部常任委員会の開催」「支部ニュースの発行・配布」「未納克服と会費の納入」など、地道な活動でも「継続が力」で大きな成果に実つている。

③来年の全国大会へ向け、年内の前進が大事だ。県と支部が力を合わせ、掲げた年内目標を突破し、新年を迎えよう。



**滋賀・湖東記念病院人工呼吸器事件 西山美香さん無罪確定へ**

滋賀県東近江市の湖東記念病院で平成15年、人工呼吸器事件で看護助手の西山美香さんが冤罪を被り、懲役12年を服役しました。公判で否認に転じ、出所後から再審を求め、大阪高裁の再審決定を不服とした検察の中

し立てを最高裁が棄却し、再審の公判中でした。10月23日、弁護側が「検察側が有罪立証しない方針を書面で伝えてきたので、今後の再審判決で西山美香さんの無罪が確定する見通しになった」と記者会見で明かしました。